

## 平成30年度産業廃棄物処理施設専門委員会議事要旨

日 時	平成30年7月17日（火） 午前10時00分から11時30分まで
場 所	埼玉会館3C会議室（さいたま市浦和区3-1-4）
委 員 名	荒井委員、岩本委員、小野委員、河村委員、木村委員、藤吉委員（委員長）
県担当者	（産業廃棄物指導課） 酒井課長、赤松主幹、鈴木主査、西川主任、齋藤主任、佐藤主事、松下技師、高橋技師
傍聴者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県資源循環推進課 1名</li> <li>・ 川口市 2名</li> <li>・ 越谷市 2名</li> <li>・ 傍聴者 2名</li> </ul>

【1. 委員長の選出について】		
質問・意見		回答
1	委員長の選出について推薦をお願いしたい。 （事務局）	・ 意見なし
2	事務局からの提案で藤吉委員に委員長をお願いしたい。 （事務局）	・ 異議なし （各委員）

【2. 会議の公開の可否について】		
質問・意見		説明・回答
1	議会の公開について説明を求める。 （委 員）	・ 設置要綱第6条の規定に基づいて、原則公開だが、出席委員の2/3以上の議決がある場合は非公開となる。 （事務局）
2	意見質問がなければ、公開の原則に従い、本会議は公開とする。 （委 員）	・ 異議なし （各委員）

【3. (株)タカヤマの産業廃棄物処理施設変更許可申請について】

質問・意見	説明、回答
<p>1 事務局の説明によれば、焼却施設に投入される汚泥は含水率を30%まで落とすとあったが、申請資料では含水率20%の乾燥汚泥と75%の自社汚泥をほぼ1:1で混合しており、30%にはならないのではないか？ (委員)</p>	<p>申請者に確認します。 (事務局)</p>
<p>2 廃掃法上、焼却施設は800℃以上で2秒間以上燃焼することになっているが、このフローにおいて2秒滞留する範囲はどこになるのか？ (委員)</p>	<p>燃焼室と脱臭炉です。滞留時間は燃焼室が4.5秒、脱臭炉が2.5秒です。 (事務局)</p>
<p>3 資料のばい煙測定結果によれば、湿り排ガス20,900Nm<sup>3</sup>/h、乾き排ガス13,400Nm<sup>3</sup>/hとなっているが、現施設の許可上の排ガス量はどうか？ (委員)</p>	<p>申請者に確認し、後ほど各委員に報告いたします。 (事務局)</p>
<p>排ガス処理については、ダイオキシン対策の関係で変更しているか？ (委員)</p>	<p>設置当初はマルチサイクロンだったが、ダイ特法の施行に伴い、バグフィルターに変えています。 (事務局)</p>
<p>4 フロー図に加圧浮上装置で生じるスラッジの行き先が書かれていないが、記載漏れか？ (委員)</p>	<p>記載漏れです。No. 5の余剰汚泥投入槽に入ります。 (事務局)</p>
<p>直接、No. 5の投入槽に入るのか、汚泥貯槽を介して入るのかを明確にしたい。 (委員)</p>	<p>その点も明らかにしたフロー図に修正します。 (事務局)</p>
<p>5 本庄市と上里町の住民には、どのような対応をとっているのか？ (委員)</p>	<p>6月と11月の年2回、住民に対する説明会を行っています。 (事務局)</p>
<p>今回の変更許可申請についてはどのように対応したか？ (委員)</p>	<p>周辺住民に対して、変更内容について説明会を実施しています。 (事務局)</p>

6	騒音の自主分析では夜間の測定がされていないが、測定した方がよいのではないか？ (委員)	今回の変更後、測定を行うよう申請者に伝えます。 (事務局)
	生活環境影響調査では1地点だが自主分析では4地点測定している。自主分析の4地点で夜間の測定をしてほしい。 (委員)	埼玉県と委員会からの要望という形で申請者に伝えます。 (事務局)
7	維持管理基準に沿って運転記録を作成していると思うが、COについては一般的に4時間平均値が30ppmを超えないこと、1時間平均値で100ppmを超えるピークをなるべく生じさせないこととなっているが、資料の運転記録にある80ppmの根拠は何か？ (委員)	恐らく100ppmから余裕を見て設定している数値と思われますが、申請者に確認して報告します。 (事務局)
8	技術管理者の選任状況はどうなっているか？ (委員)	選任されていますが、個人情報保護の観点から、資料には添付していません。 (事務局)
9	熱しゃく減量がかなり低く、重金属などの有害物質が濃縮されている可能性がある。焼却灰とばいじんは全量リサイクルしているとのことだが、溶出試験のデータはどうなっているのか確認したい。 (委員)	申請者から資料を入手し、提供します。 (事務局)
10	物質収支図の基準ベースは過去の受け入れ実績を基に設定しているのか？ (委員)	平成28年の受入れ廃棄物の数字を使っています。 (事務局)
	マテリアルバランスは経年的にあまり変わっていないのか？ (委員)	申請者からは昔に比べると含水率は徐々に下がっていると聞いています。 (事務局)
	そうであれば平成28年のデータを使って設計して大丈夫なのか？大丈夫であることをフォローする資料が欲しい。 (委員)	申請者から資料を入手し、提供します。 (事務局)

11	<p>現地調査の時に気になったが、建屋内でかなり臭気があった。室内の空気をブロアーで引いて焼却炉で燃焼脱臭するの か？ (委 員)</p>	<p>現在は建屋内の強い臭気はオゾンと活性炭で、弱い臭気は活性炭で脱臭していますが、変更後は弱い臭気をブロアーで引いて焼却炉の燃焼空気として使う計画です。 (事務局)</p>
----	---	---

【4. 次回会議の開催の可否について】		
質問・意見		説明・回答
1	<p>7項目ほど確認事項について、事務局で取りまとめたものを各委員に確認してもらおう形にしたい。 (委 員)</p>	<p>了解しました。 (事務局) 異議なし。 (各委員)</p>
2	<p>再度委員会を開く必要はあるだろうか？ (委 員)</p>	<p>申請者は各法令を遵守して現在の施設の運転管理を行っており、確認事項が確認できたら、改めて議論する必要はないと思う。 (委 員)</p>
	<p>確認事項の回答内容について、各委員の了承が得られれば、意見書を作っていきたいと思う。 (委 員)</p>	